

# 第1章 現況特性の把握

本章では、人口及び世帯数の推移等、本市の現状や動向に関する基礎データを整理するとともに、あわせて都市構造の特性を評価することにより、本市の現況特性を把握します。

## 1 基礎データの整理

本市の現状や動向に関する基礎データとして、「人口及び世帯数」、「市街地形成過程」、「土地利用」、「都市機能」、「産業構造」、「都市施設」、「市街地整備」、「交通・市民流動」、「防災」、「財政」の視点により整理します。

### (1) 人口及び世帯数

- 本市の人口、世帯数ともに1970年(昭和45年)以降増加しています。
- 将来の人口は、当面は増加傾向を続け、2040年(令和22年)で100,942人となる見通しです。
- 過去10年間の社会動態は、平均で約470人/年程度社会増であり、子ども・子育て世代を中心に増加しています。
- 高齢者が増加傾向にあり、高齢化が進行しています。
- 市内大学の学生数が減少しており、空家・空き部屋が発生しています。

#### ①人口・世帯数の推移

- 1970年(昭和45年)以降、本市の人口、世帯数ともに増加傾向にあります。(ただし2010年(平成22年)から2015年(平成27年)の世帯増加率は人口増加率を下回る)
- 愛知県と比較すると、本市の人口・世帯増加率は高いものの、2010年(平成22年)から2015年(平成27年)にかけ世帯増加率は大きく低下しています。

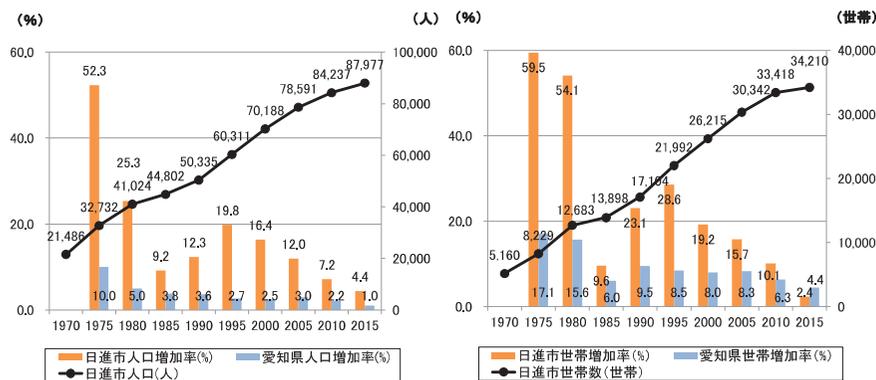


図 1-1 人口の推移

図 1-2 世帯数の推移

# 第1章 現況特性の把握

本章では、人口及び世帯数の推移等、本市の現状や動向に関する基礎データを整理するとともに、あわせて都市構造の特性を評価することにより、本市の現況特性を把握します。

## 1 基礎データの整理

本市の現状や動向に関する基礎データとして、「人口及び世帯数」、「市街地形成過程」、「土地利用」、「都市機能」、「産業構造」、「都市施設」、「市街地整備」、「交通・市民流動」、「防災」、「財政」の視点により整理します。

### (1) 人口及び世帯数

- 本市の人口、世帯数ともに1970年(昭和45年)以降増加しています。
- 将来の人口は、当面は増加傾向を続け、2040年(令和22年)で100,942人となる見通しです。
- 過去10年間の社会動態は、平均で約380人/年程度社会増であり、子ども・子育て世代を中心に増加しています。
- 高齢者が増加傾向にあり、高齢化が進行しています。
- 市内大学の学生数が減少しており、空家・空き部屋が発生しています。

#### ①人口・世帯数の推移

- 1970年(昭和45年)以降、本市の人口、世帯数ともに増加傾向にあります。
- **本市の人口・世帯増加率は、減少傾向にあるものの、世帯増加率については2015年(平成27年)から2020年(令和2年)にかけて増加しており、愛知県の世帯増加率を上回っています。**

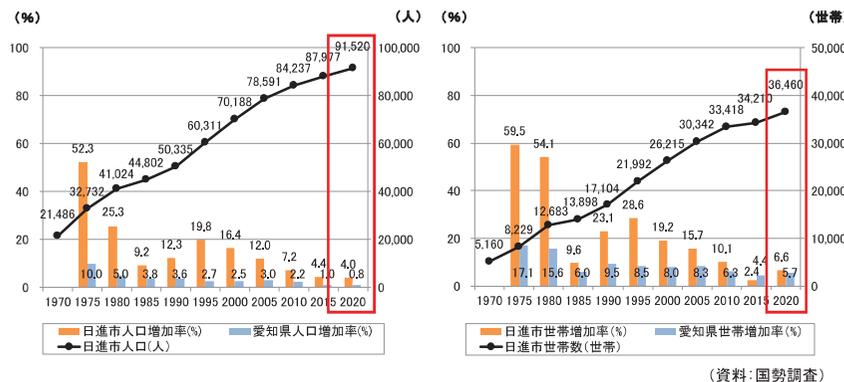


図 1-1 人口の推移

図 1-2 世帯数の推移

現行計画

②年齢3区分別人口・割合の推移

- 2010年（平成22年）から2015年（平成27年）にかけて、生産年齢人口（15～64歳）は微減、年少人口（15歳未満）、老年人口（65歳以上）は増加しています。
- 年少人口割合、生産年齢人口割合は減少傾向にある一方、老年人口割合は増加傾向にあり、2015年（平成27年）ではおよそ5人に1人が高齢者となり、高齢化が進行しています。

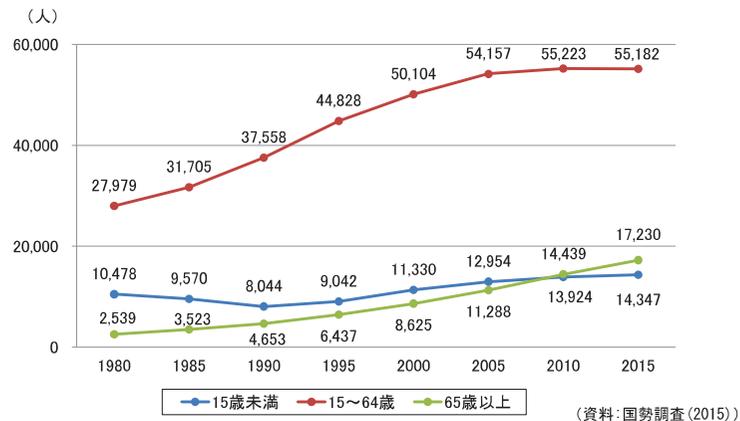


図1-3 年齢3区分人口の推移

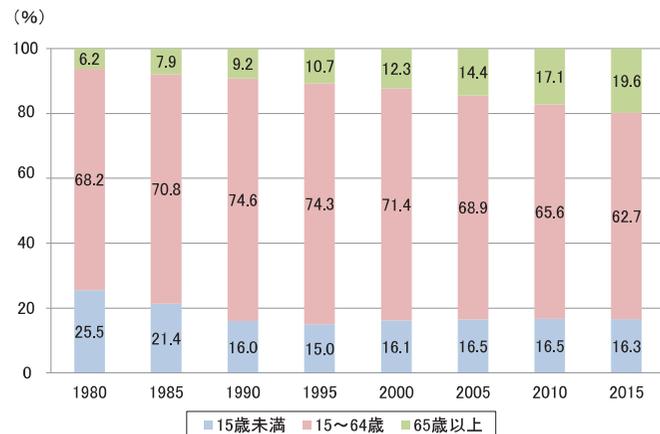


図1-4 年齢3区分人口割合の推移

中間見直し案

②年齢3区分別人口・割合の推移

- 2015年（平成27年）から2020年（令和2年）にかけて、年少人口（15歳未満）、生産年齢人口（15～64歳）は減少、老年人口（65歳以上）は増加しています。
- 年少人口割合、生産年齢人口割合は減少傾向にある一方、老年人口割合は増加傾向にあり、2015年（平成27年）ではおよそ5人に1人が高齢者となり、高齢化が進行しています。

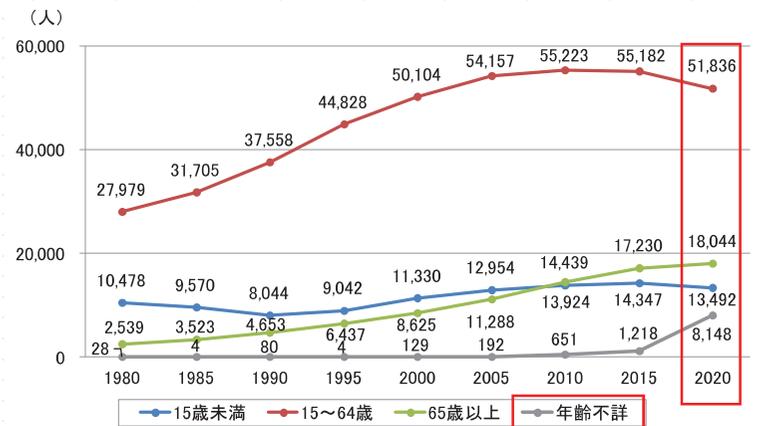


図1-3 年齢3区分人口の推移

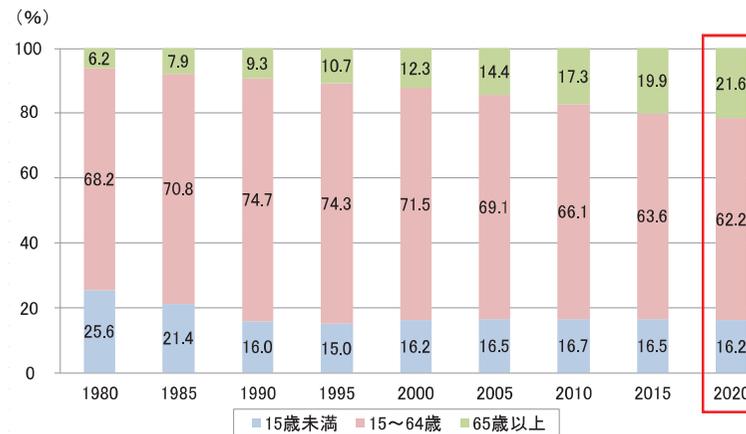


図1-4 年齢3区分人口割合の推移

※年齢不詳除く

(資料: 国勢調査)

③社会動態・自然動態の推移

- 社会動態は、2010年（平成22年）以降転入が転出を上回っており、年間約150～1,100人の範囲で増加し、過去10年間の平均で、約470人/年増加しています。
- 自然動態は、2010年（平成22年）以降出生数が死亡数を上回っており、年間約400～600人の範囲で増加しています。

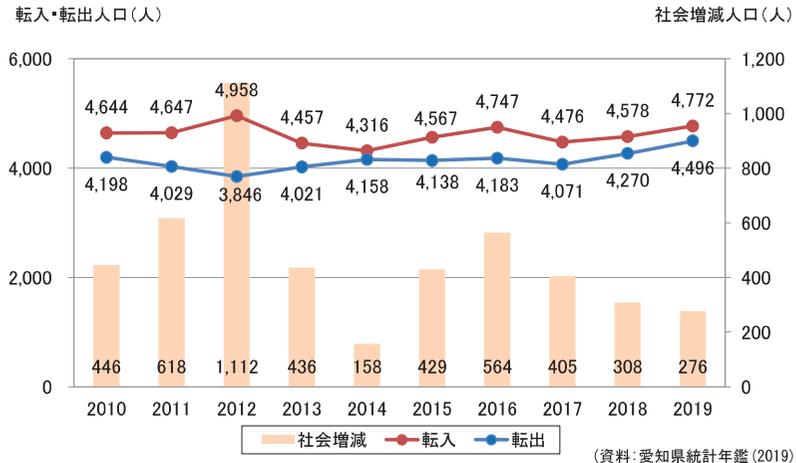


図1-5 社会動態の推移



図1-6 自然動態の推移

③社会動態・自然動態の推移

- 社会動態は、2013年（平成25年）以降転入が転出を上回っており、年間約150～650人の範囲で増加し、過去10年間の平均で、約380人/年増加しています。
- 自然動態は、2013年（平成25年）以降出生数が死亡数を上回っており、年間約100～550人の範囲で増加しています。

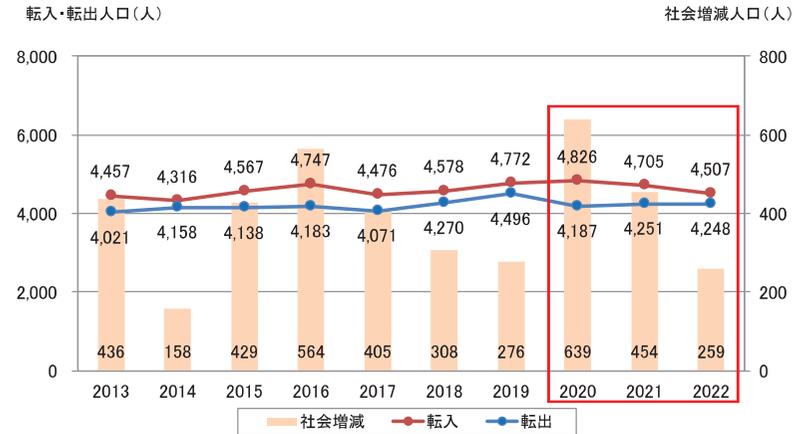


図1-5 社会動態の推移

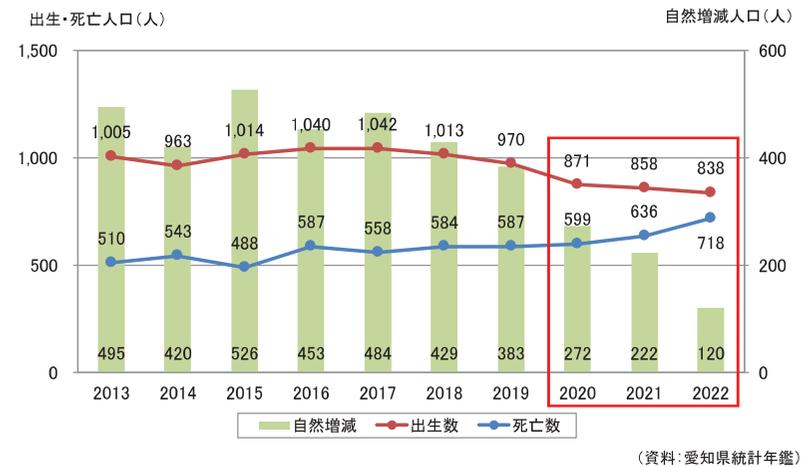


図1-6 自然動態の推移

0 計画の策定にあたって  
1 現状特性の把握  
2 都市づくり上の課題の整理  
3 都市づくりの理念と基本目標  
4 将来都市構造  
5 都市づくりの方針  
6 地域別構想  
7 計画の推進に向けて  
8 参考資料

0 計画の策定にあたって  
1 現状特性の把握  
2 都市づくり上の課題の整理  
3 都市づくりの理念と基本目標  
4 将来都市構造  
5 都市づくりの方針  
6 地域別構想  
7 計画の推進に向けて  
8 参考資料

現行計画

④世帯の家族類型

- 一般世帯数の増加率が鈍化しています。
- 核家族世帯は増加を続けており、単独世帯は横ばい傾向となっています。

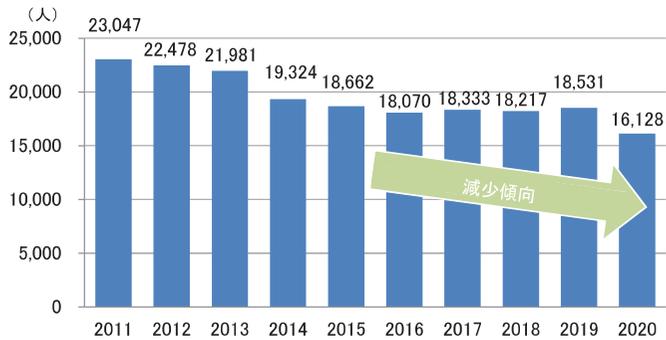
表 1-1 家族類型の推移

年度	総数	親族のみの世帯	核家族世帯	うち夫婦のみの世帯	うち夫婦と子供から成る世帯	核家族以外の世帯	非親族を含む世帯	単独世帯	3世代世帯
一般世帯数									
2005	30,145	21,325	18,838	6,181	11,102	2,487	169	8,651	1,765
2010	33,381	22,948	20,556	6,806	11,809	2,392	234	10,198	1,690
2015	34,163	24,457	22,425	7,341	12,828	2,032	263	9,231	1,412
一般世帯人員									
2005	77,193	68,201	56,942	12,370	40,785	11,259	341	8,651	9,017
2010	82,950	72,216	61,609	13,612	43,245	10,607	533	10,198	8,485
2015	86,481	75,985	67,148	14,682	47,024	8,837	614	9,231	6,973
1世帯当たり人員									
2005	2.6	3.2	3.0	2.0	3.7	4.5	1.0	1.0	5.1
2010	2.5	3.1	3.0	2.0	3.7	4.4	2.3	1.0	5.0
2015	2.5	3.1	3.0	2.0	3.7	4.3	2.3	1.0	4.9
(再掲)6歳未満世帯員のいる一般世帯数									
2005	4,146	4,146	3,782	-	3,677	364	-	-	353
2010	4,371	4,365	3,983	-	3,865	382	6	-	373
2015	4,504	4,499	4,230	-	4,129	269	5	-	262
(再掲)18歳未満世帯員のいる一般世帯数									
2005	8,830	8,817	7,717	-	7,232	1,100	-	13	1,068
2010	9,746	9,680	8,600	1	7,963	1,080	13	53	1,047
2015	10,289	10,196	9,354	-	8,672	842	21	72	812
(再掲)65歳以上世帯員のいる一般世帯数									
2005	7,388	6,199	4,130	2,635	1,020	2,069	11	1,178	1,544
2010	9,180	7,482	5,457	3,347	1,451	2,025	31	1,667	1,480
2015	10,609	8,458	6,663	3,957	1,803	1,795	41	2,110	1,282
(再掲)65歳以上世帯員のみの一般世帯数									
2005	3,056	1,878	1,826	1,807	-	52	-	1,178	-
2010	4,312	2,637	2,549	2,528	-	88	8	1,667	-
2015	5,571	3,450	3,348	3,302	-	102	11	2,110	-

(資料：国勢調査(2015))

⑤市内大学の学生数

- 過去10年間、市内大学の学生数は2011年(平成23年)から2020年(令和2年)にかけて約6,199人(約30%)減少しています。



(資料：日進市資料)

図 1-7 市内大学の学生数の推移

中間見直し案

④世帯の家族類型

- 一般世帯数は増加傾向にありますが、1世帯当たり人員は減少傾向にあります。
- 核家族世帯、単独世帯は増加傾向にあります。

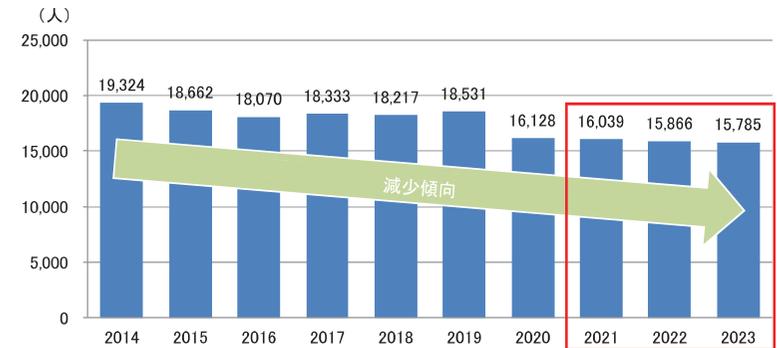
表 1-1 家族類型の推移

年度	総数	親族のみの世帯	核家族世帯	うち夫婦のみの世帯	うち夫婦と子供から成る世帯	核家族以外の世帯	非親族を含む世帯	単独世帯	3世代世帯
一般世帯数									
2005	30,145	21,325	18,838	6,181	11,102	2,487	169	8,651	1,765
2010	33,381	22,948	20,556	6,806	11,809	2,392	234	10,198	1,690
2015	34,163	24,457	22,425	7,341	12,828	2,032	263	9,231	1,412
2020	36,416	24,092	22,334	7,733	12,257	1,758	283	10,085	1,111
一般世帯人員									
2005	77,193	68,201	56,942	12,370	40,785	11,259	341	8,651	9,017
2010	82,950	72,216	61,609	13,612	43,245	10,607	533	10,198	8,485
2015	86,481	75,985	67,148	14,682	47,024	8,837	614	9,231	6,973
2020	90,049	73,061	65,848	15,466	44,786	7,213	637	10,085	5,297
1世帯当たり人員									
2005	2.6	3.2	3.0	2.0	3.7	4.5	1.0	1.0	5.1
2010	2.5	3.1	3.0	2.0	3.7	4.4	2.3	1.0	5.0
2015	2.5	3.1	3.0	2.0	3.7	4.3	2.3	1.0	4.9
2020	2.5	3.0	2.9	2.0	3.7	4.1	2.3	1.0	4.8
(再掲)6歳未満世帯員のいる一般世帯数									
2005	4,146	4,146	3,782	-	3,677	364	-	-	353
2010	4,371	4,365	3,983	-	3,865	382	6	-	373
2015	4,504	4,499	4,230	-	4,129	269	5	-	262
2020	4,660	4,057	3,845	-	3,731	212	3	-	205
(再掲)18歳未満世帯員のいる一般世帯数									
2005	8,830	8,817	7,717	-	7,232	1,100	-	13	1,068
2010	9,746	9,680	8,600	1	7,963	1,080	13	53	1,047
2015	10,289	10,196	9,354	-	8,672	842	21	72	812
2020	9,435	9,398	8,768	-	8,129	630	21	16	597
(再掲)65歳以上世帯員のいる一般世帯数									
2005	7,388	6,199	4,130	2,635	1,020	2,069	11	1,178	1,544
2010	9,180	7,482	5,457	3,347	1,451	2,025	31	1,667	1,480
2015	10,609	8,458	6,663	3,957	1,803	1,795	41	2,110	1,282
2020	11,072	8,519	6,970	4,207	1,742	1,549	25	2,528	1,028
(再掲)65歳以上世帯員のみの一般世帯数									
2005	3,056	1,878	1,826	1,807	-	52	-	1,178	-
2010	4,312	2,637	2,549	2,528	-	88	8	1,667	-
2015	5,571	3,450	3,348	3,302	-	102	11	2,110	-
2020	6,331	3,800	3,673	3,602	-	127	3	2,528	-

(資料：国勢調査)

⑤市内大学の学生数

- 過去10年間、市内大学の学生数は2014年(平成26年)から2023年(令和5年)にかけて3,539人(約18%)減少しています。



(資料：にっしんの統計書)

図 1-7 市内大学の学生数の推移

⑥将来人口見通し

■ 日進市人口ビジョンでは、2040年（令和22年）まで増加を続け、100,942人になる見通しとなっています。



(資料:第2期 日進市人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略 (2021))

図1-8 将来人口見通し (日進市人口ビジョンの推計)

⑥将来人口見通し

■ 日進市人口ビジョンでは、2040年（令和22年）まで増加を続け、100,942人になる見通しとなっています。



(資料:第2期 日進市人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略 (2021))

図1-8 将来人口見通し (日進市人口ビジョンの推計)

0 計画の策定にあたって  
 1 現状特性の把握  
 2 都市づくり上の課題の整理  
 3 都市づくりの理念と基本目標  
 4 将来都市構造  
 5 都市づくりの方針  
 6 地域別構想  
 7 計画の推進に向けて  
 8 参考資料

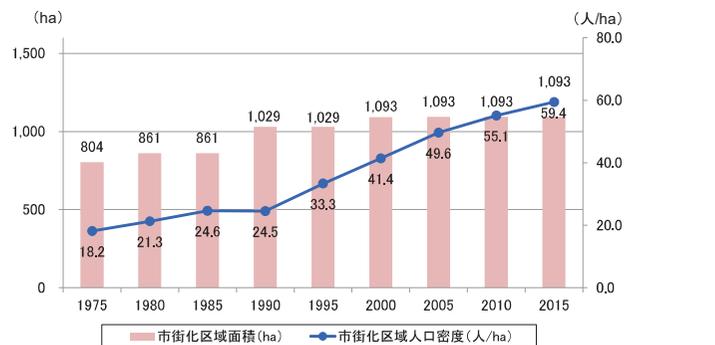
0 計画の策定にあたって  
 1 現状特性の把握  
 2 都市づくり上の課題の整理  
 3 都市づくりの理念と基本目標  
 4 将来都市構造  
 5 都市づくりの方針  
 6 地域別構想  
 7 計画の推進に向けて  
 8 参考資料

(2) 市街地形成過程

- 総人口に占める市街化区域人口の割合は73.8%であり、市街化区域の人口密度は増加し、人口集積が進行しています。
- 2015年(平成27年)の人口集中地区(DID)の人口密度は74.4人/haであり、DID基準の40人/haを大きく上回っています。
- 市街化区域内の既存市街地や市街化調整区域に点在する集落において、老年人口比率が高いです。
- 地区別人口増減をみると、名古屋市に隣接する香久山等の民営借家が多く立地する地区や日進駅、赤池駅周辺の比較的人口密度が高い地区において人口が減少しています。

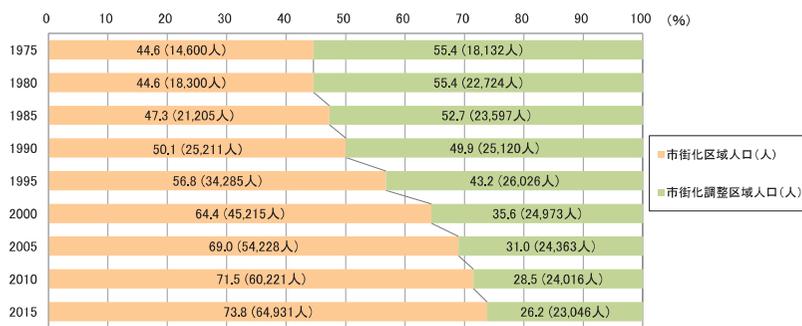
①市街化区域及び市街化調整区域の面積・人口・人口密度の推移

- 市街化区域面積は1975年(昭和50年)以降増加しており、2015年(平成27年)時点で1,093ha、2020年(令和2年)度末に1,124haとなります。
- 市街化区域人口密度は増加傾向にあり、2015年(平成27年)には1980年(昭和55年)の約3倍の59.4人/haまで増加しています。
- 総人口に占める市街化区域人口は増加傾向にあり、73.8%を占めています。



(資料:都市計画基礎調査(2018))

図1-9 市街化区域面積・人口密度の推移



(資料:都市計画基礎調査(2018))

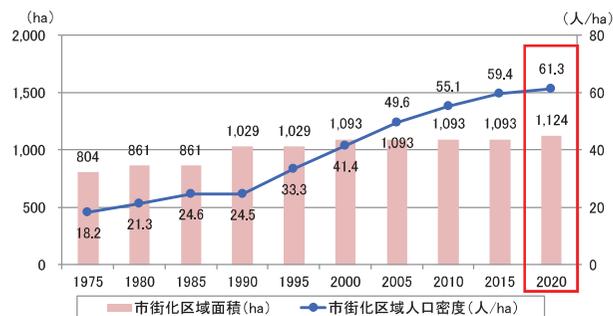
図1-10 市街化区域と市街化調整区域の人口内訳の推移

(2) 市街地形成過程

- 総人口に占める市街化区域人口の割合は75.3%であり、市街化区域の人口密度は増加し、人口集積が進行しています。
- 2020年(令和2年)の人口集中地区(DID)の人口密度は71.7人/haであり、DID基準の40人/haを大きく上回っています。
- 市街化区域内の既存市街地や市街化調整区域に点在する集落において、老年人口比率が高いです。
- 地区別人口増減をみると、名古屋市に隣接する香久山等の民営借家が多く立地する地区や米野木駅、日進駅、赤池駅周辺の比較的人口密度が高い地区において人口が減少しています。

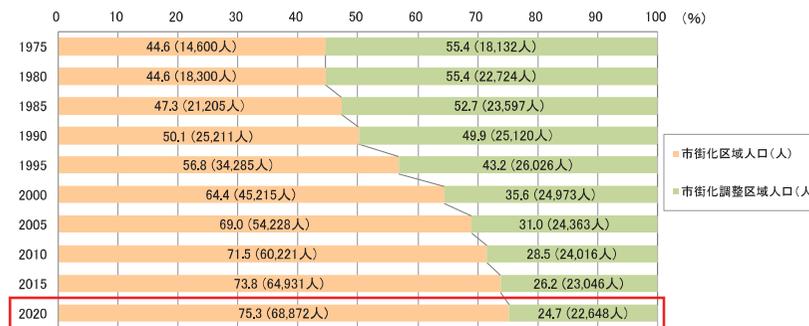
①市街化区域及び市街化調整区域の面積・人口・人口密度の推移

- 市街化区域面積は1975年(昭和50年)以降増加しており、2020年(令和2年)時点で1,124haとなっています。
- 市街化区域人口密度は増加傾向にあり、2020年(令和2年)には1980年(昭和55年)の約3倍の61.3人/haまで増加しています。
- 総人口に占める市街化区域人口は増加傾向にあり、2020年(令和2年)時点で75.3%を占めています。



(資料:都市計画基礎調査)

図1-9 市街化区域面積・人口密度の推移



(資料:都市計画基礎調査)

図1-10 市街化区域と市街化調整区域の人口内訳の推移

②人口集中地区(DID)面積・人口・人口密度の推移

- 人口集中地区(DID)は1995年(平成7年)に形成されて以降拡大傾向にあり、2015年(平成27年)時点で約679haになります。
- 人口集中地区(DID)の人口密度は増加傾向にあり、2005年(平成17年)に70人/haを超えて以降は微増しています。2015年(平成27年)時点で74.4人/haとなっています。
- 人口集中地区(DID)の推移は、既成市街地に隣接して行われた開発等の市街地整備により拡大しています。

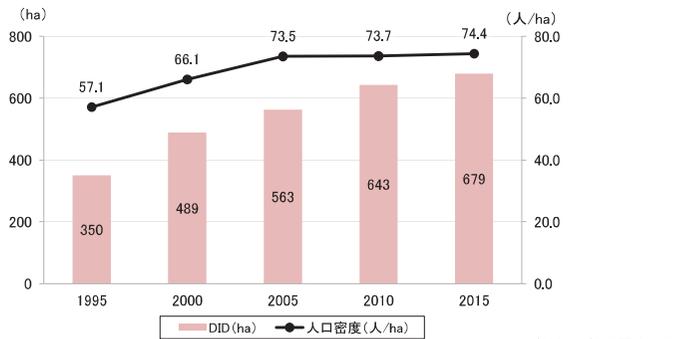


図1-11 人口集中地区(DID)の面積と人口密度の推移

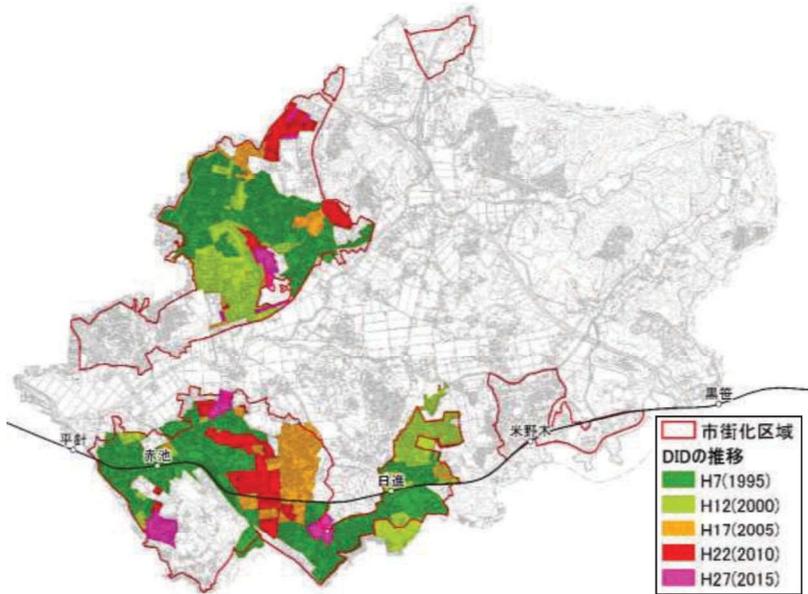


図1-12 人口集中地区(DID)の変遷

②人口集中地区(DID)面積・人口・人口密度の推移

- 人口集中地区(DID)は1995年(平成7年)に形成されて以降拡大傾向にあり、2020年(令和2年)時点で約780haになります。
- 人口集中地区(DID)の人口密度は増加傾向にありましたが、2015年(平成27年)から2020年(令和2年)にかけては減少しています。2020年(令和2年)時点で71.7人/haとなっており、DID基準の40人/haを大きく上回っています。
- 人口集中地区(DID)の推移は、既成市街地に隣接して行われた開発等の市街地整備により拡大しています。

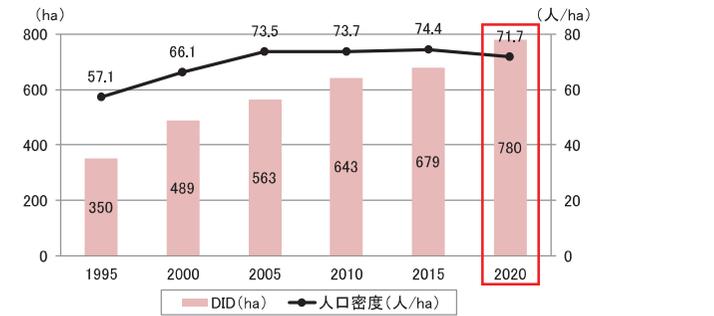


図1-11 人口集中地区(DID)の面積と人口密度の推移

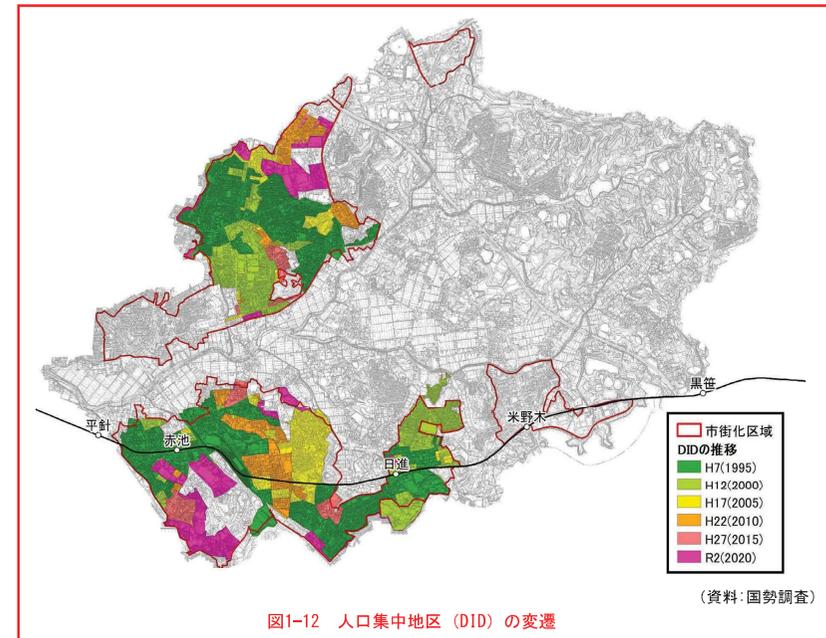


図1-12 人口集中地区(DID)の変遷

0 計画の策定にあたって  
1 現状特性の把握  
2 都市づくり上の課題の整理  
3 都市づくりの理念と基本目標  
4 将来都市構造  
5 都市づくりの方針  
6 地域別構想  
7 計画の推進に向けて  
8 参考資料

0 計画の策定にあたって  
1 現状特性の把握  
2 都市づくり上の課題の整理  
3 都市づくりの理念と基本目標  
4 将来都市構造  
5 都市づくりの方針  
6 地域別構想  
7 計画の推進に向けて  
8 参考資料

③地区別人口・人口密度分布・高齢化状況

- 2010年（平成22年）から2015年（平成27年）の地区別人口増減率をみると、主に土地区画整理事業が実施済みの地区は増加しています。
- 一方で、名古屋市に隣接する香久山等の民営借家が多く立地する地区や日進駅、赤池駅周辺の比較的人口密度が高い地区において、減少しています。また、北新町、三本木町等の既存集落においても減少しています。
- 地区別人口密度は主に市街化区域内の駅周辺における土地区画整理事業が実施済みの地区で高い傾向にあります。
- 地区別高齢化状況をみると、主に市街化区域内の既成市街地や市街化調整区域に点在する集落において、老年人口比率が高い傾向にあります。

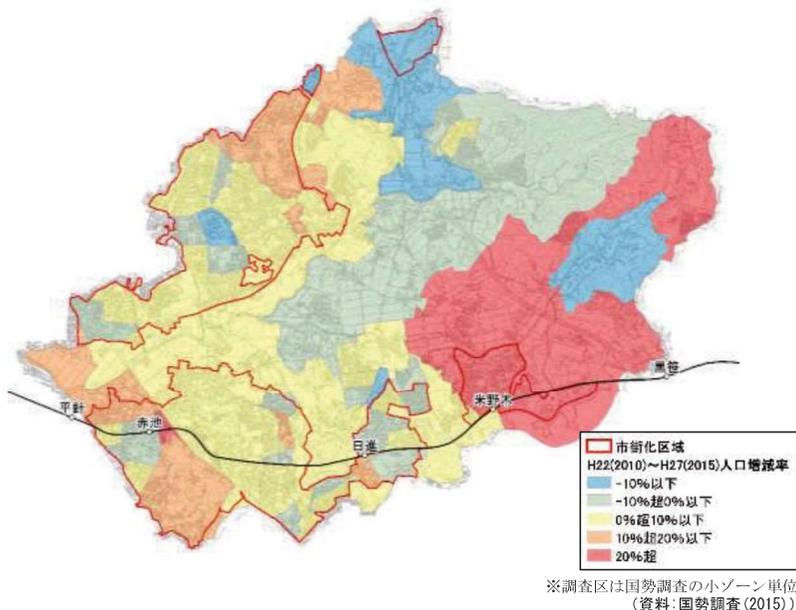


図1-13 地区別人口増減率

③地区別人口・人口密度分布・高齢化状況

- 2015年（平成27年）から2020年（令和2年）の地区別人口増減率をみると、主に土地区画整理事業が実施済みの地区は増加しています。
- 一方で、名古屋市に隣接する香久山等の民営借家が多く立地する地区や米野木駅、日進駅、赤池駅周辺の比較的人口密度が高い地区において、減少しています。また、北新町等の既存集落においても減少しています。
- 地区別人口密度は主に市街化区域内の駅周辺における土地区画整理事業が実施済みの地区で高い傾向にあります。
- 地区別高齢化状況をみると、主に市街化区域内の既成市街地や市街化調整区域に点在する集落において、老年人口比率が高い傾向にあります。

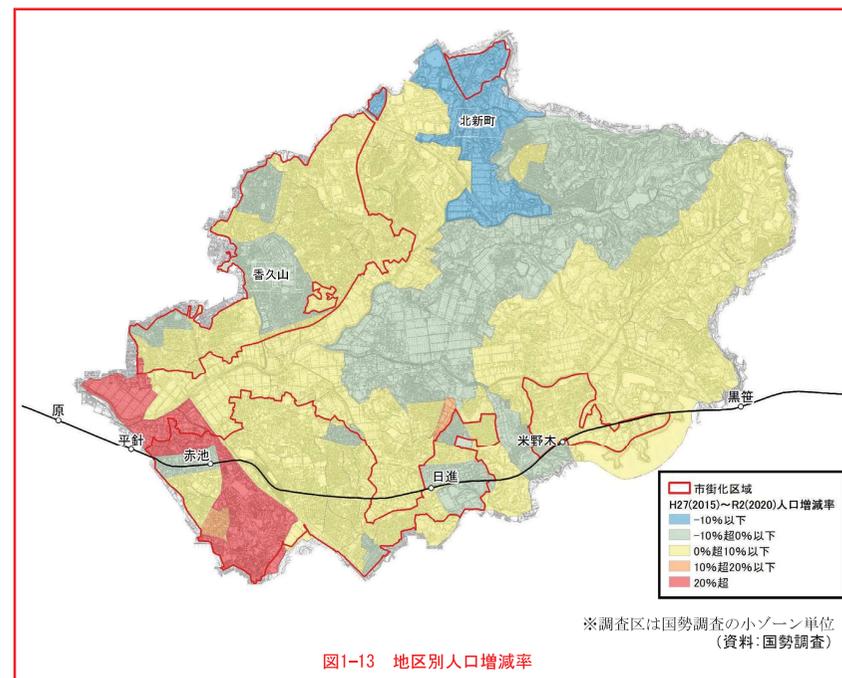
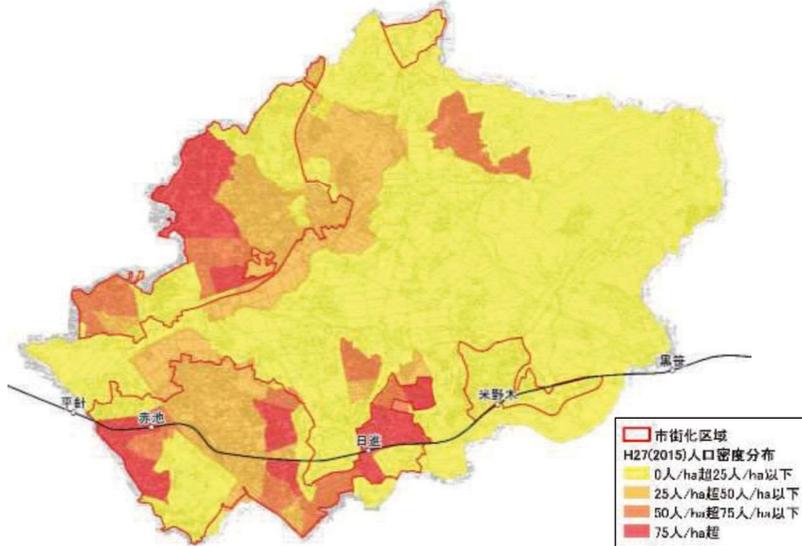


図1-13 地区別人口増減率

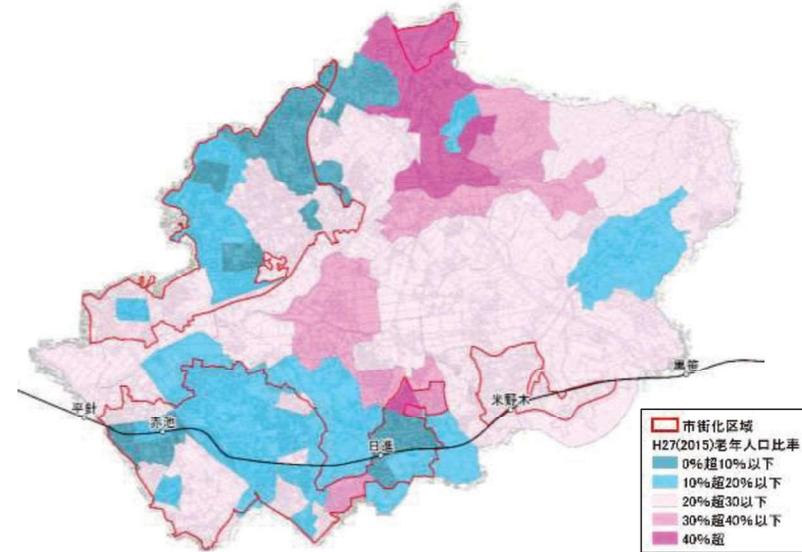
# 現行計画

第1章 現況特性の把握



※調査区は国勢調査の小ゾーン単位  
(資料:国勢調査(2015))

図1-14 地区別人口密度



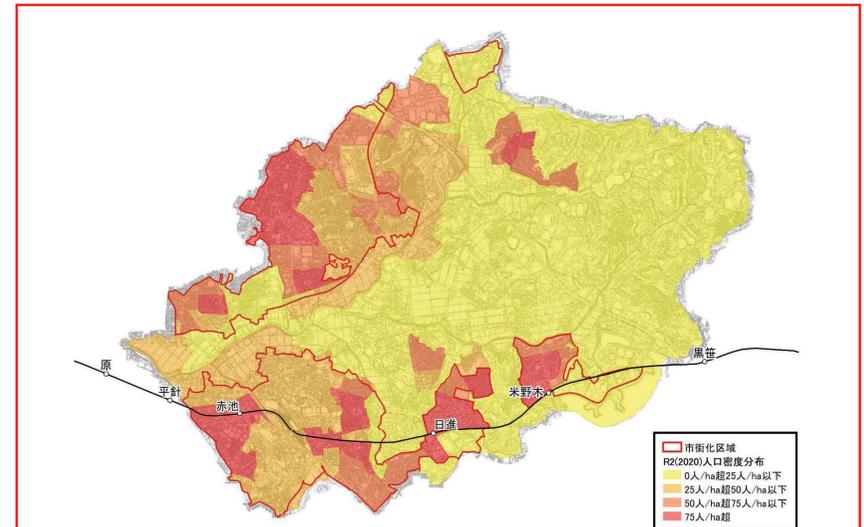
※調査区は国勢調査の小ゾーン単位  
(資料:国勢調査(2015))

図1-15 地区別老年人口比率

- 0 計画の策定にあたって
- 1 現状特性の把握
- 2 都市づくり上の課題の整理
- 3 都市づくりの理念と基本目標
- 4 将来都市構造
- 5 都市づくりの方針
- 6 地域別構想
- 7 計画の推進に向けて
- 8 参考資料

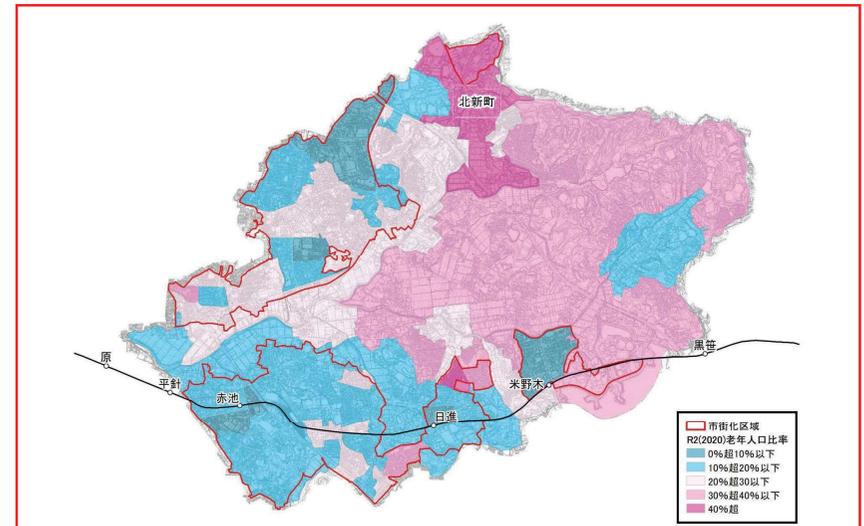
# 中間見直し案

第1章 現況特性の把握



※調査区は国勢調査の小ゾーン単位  
(資料:国勢調査(2020))

図1-14 地区別人口密度



※調査区は国勢調査の小ゾーン単位  
(資料:国勢調査(2020))

図1-15 地区別老年人口比率

- 0 計画の策定にあたって
- 1 現状特性の把握
- 2 都市づくり上の課題の整理
- 3 都市づくりの理念と基本目標
- 4 将来都市構造
- 5 都市づくりの方針
- 6 地域別構想
- 7 計画の推進に向けて
- 8 参考資料

(3) 土地利用

- 本市を東西に貫く河川の周辺には一団のまとまりのある農用地区域が広がっているほか、河川環境を保全する緑が連続しています。
- 東部丘陵地、御嶽山や北高上緑地を始め、まとまった緑地が残り、都市化が進展する中恵まれた自然環境があり、公有化による保全の取組みも進行しています。
- 市街化区域の住宅地において、低・未利用地が広く分布しています。
- 市北部及び東部の森林や広がりのある農地に囲まれた自然が豊かな居住環境が広がっています。
- 工業系用途地域である浅田地区等では住宅と工場が混在しています。
- 商業系用途地域における商業系土地利用の特化傾向は低く、特に日進駅、米野木駅の周辺における商業集積が低いです。

①法指定状況

- 農業振興地域は市街化調整区域の大部分を、農用地区域は天白川等周辺を指定しています。
- 森林地域は、市の北東部の市街化調整区域（東部丘陵地）等に大規模な保安林・地域森林計画対象民有林が分布、市街化区域内においても地域森林計画対象民有林が多く分布しています。

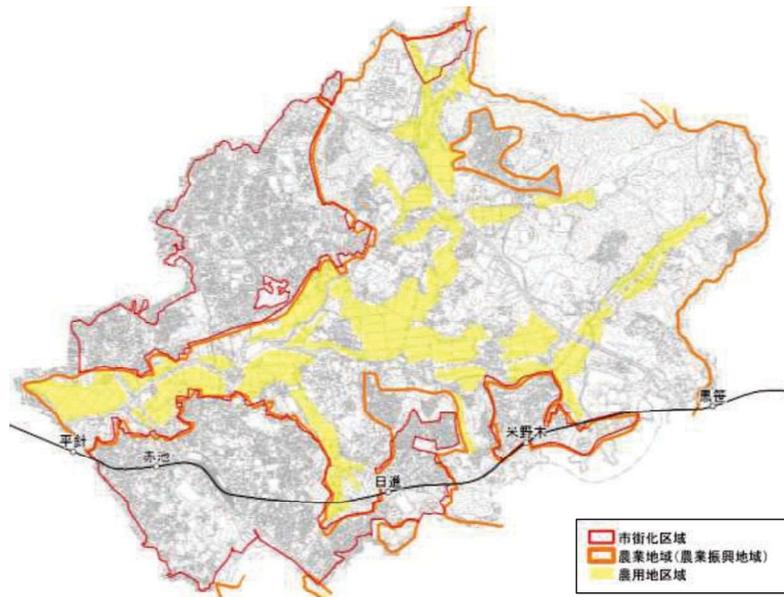


図1-16 農業振興地域・農用地区域

(3) 土地利用

- 本市を東西に貫く河川の周辺には一団のまとまりのある農用地区域が広がっているほか、河川環境を保全する緑が連続しています。
- 東部丘陵地、御嶽山や北高上緑地を始め、まとまった緑地が残り、都市化が進展する中恵まれた自然環境があり、公有化による保全の取組みも進行しています。
- 市街化区域の住宅地において、低未利用地が広く分布しています。
- 市北部及び東部の森林や広がりのある農地に囲まれた自然が豊かな居住環境が広がっています。
- 商業系用途地域における商業系土地利用の特化傾向は低く、特に日進駅、米野木駅の周辺における商業集積が低いです。
- 工業系用途地域では、住居系土地利用・商業系土地利用・工業系土地利用が混在しています。

①法指定状況

- 農業振興地域は市街化調整区域の大部分を、農用地区域は天白川等周辺を指定しています。
- 森林地域は、市の北東部の市街化調整区域（東部丘陵地）等に大規模な保安林・地域森林計画対象民有林が分布、市街化区域内においても地域森林計画対象民有林が多く分布しています。

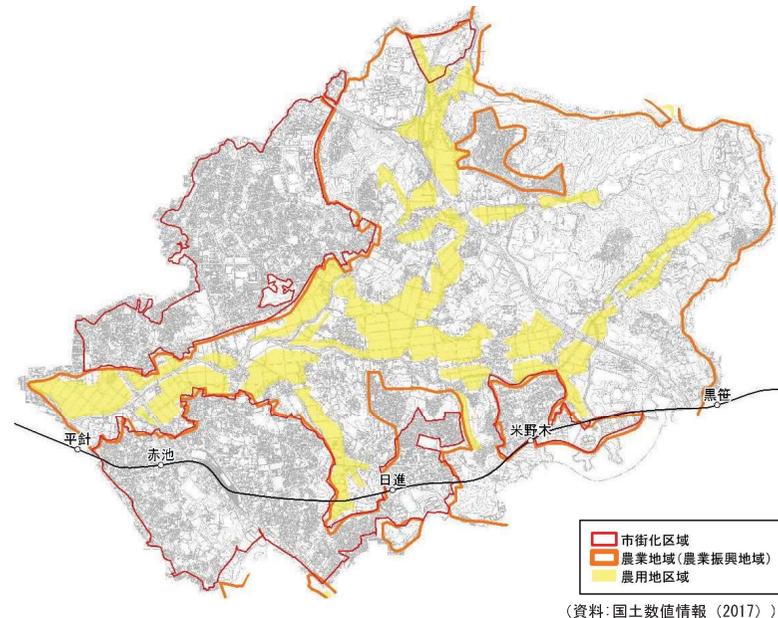


図1-16 農業振興地域・農用地区域

(資料:国土数値情報(2017))

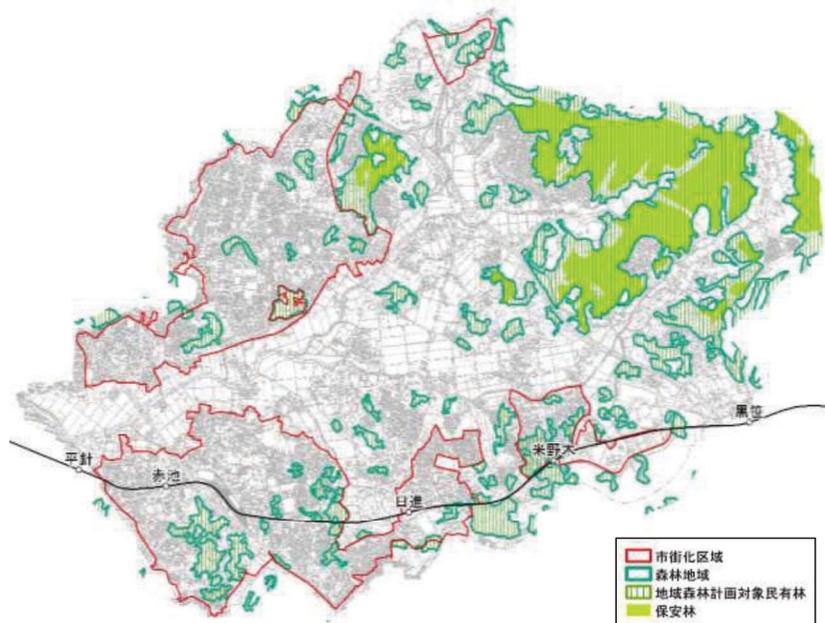


図1-17 保安林・地域森林計画対象林

(資料:国土数値情報(2017))

- 0 計画の策定に  
あたって
- 1 現状特性の把握
- 2 都市づくり上の  
課題の整理
- 3 都市づくりの  
理念と基本計画
- 4 将来都市構造  
方針
- 5 都市づくりの  
方針
- 6 地域別構想
- 7 計画の推進に  
向けて
- 8 参考資料

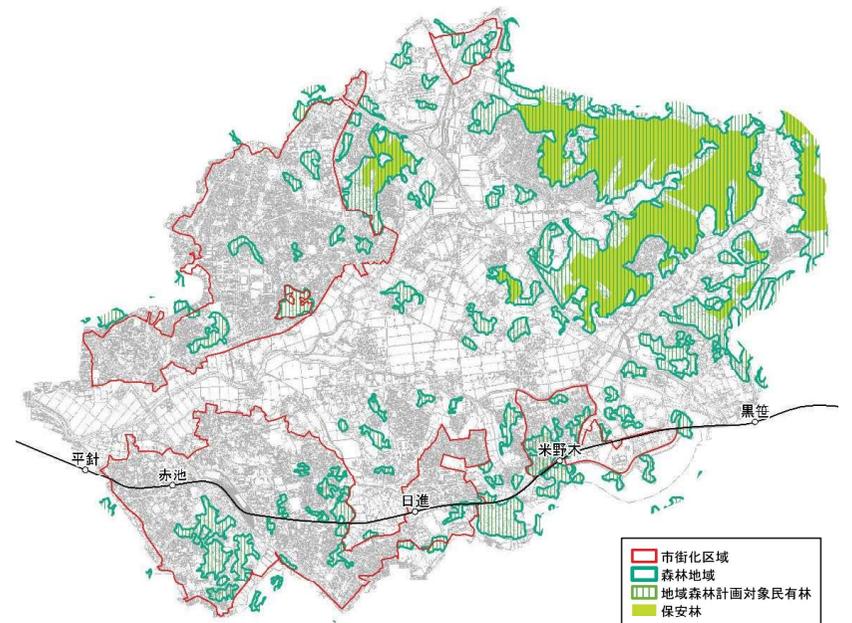


図1-17 保安林・地域森林計画対象林

(資料:国土数値情報(2017))

- 0 計画の策定に  
あたって
- 1 現状特性の把握
- 2 都市づくり上の  
課題の整理
- 3 都市づくりの  
理念と基本計画
- 4 将来都市構造  
方針
- 5 都市づくりの  
方針
- 6 地域別構想
- 7 計画の推進に  
向けて
- 8 参考資料

現行計画

②土地利用現況

- 過去10年の土地利用の推移をみると、農地、森林が減少しています。
- 市街化区域内は、住宅用地を中心に大規模な工業用地や公益施設用地、商業用地が分布しています。
- 市街化区域内の住宅用地には、平面駐車場や建物跡地等を含む低・未利用地が多く分布しています。
- 都市的・低・未利用地の分布状況は、市街化区域に畑・山林、低・未利用地が分布、市街化調整区域は天白川周辺に農作地や樹林地が分布しています。

表1-2 土地利用の推移

	行政面積	農地							原野	水面・河川・水路			
		農地	田	畑	森林	国有林	民有林	水面・河川・水路		水面	河川	水路	
2006	3,490	514	347	167	680	3	677	-	202	83	58	61	
2016	3,491	458	321	137	647	0	646	-	185	69	58	58	

	道路	一般道路					農道	林道	宅地	住宅地	工業用	その他の宅地	その他
		国道	県道	市町村道	農道	林道							
2006	383	331	46	57	229	52	-	898	627	34	237	813	
2016	369	369	45	61	263	-	-	992	702	42	247	841	

(資料:土地に関する統計年報(2017))

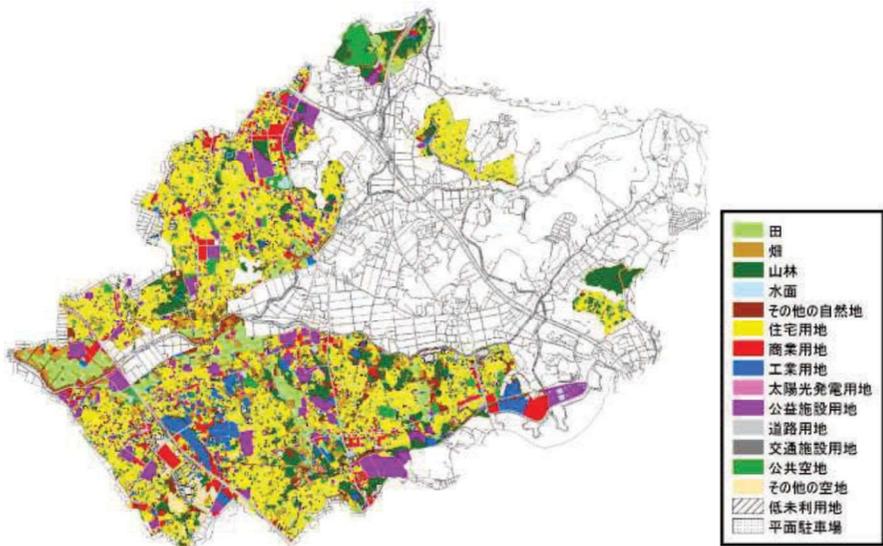


図1-18 土地利用現況図

※都市計画基礎調査上の土地利用区分で表示  
(資料:都市計画基礎調査(2018))

中間見直し案

②土地利用現況

- 過去10年の土地利用の推移をみると、田、畑、民有林、水面、水路、工業用地が減少しています。
- 市街化区域内は、住宅用地を中心に大規模な工業用地や公益施設用地、商業用地が分布しています。
- 市街化区域内の住宅用地には、平面駐車場や都市的未利用地が多く分布しています。
- 低未利用地の分布状況は、市街化区域に田、畑、山林、都市的未利用地が分布しています。

表1-2 土地利用の推移

	行政面積	農地							原野	水面・河川・水路			
		農地	田	畑	森林	国有林	民有林	水面・河川・水路		水面	河川	水路	
2011	3,490	478	327	151	657	3	654	-	199	81	58	60	
2021	3,491	433	313	120	630	-	630	0	142	26	58	58	

	道路	一般道路					農道	林道	宅地	住宅地	工業用地	その他の宅地	その他
		国道	県道	市町村道	農道	林道							
2011	353	353	44	57	252	-	-	976	674	41	261	827	
2021	387	387	46	69	272	-	-	1,042	737	37	268	858	

(資料:土地に関する統計年報)

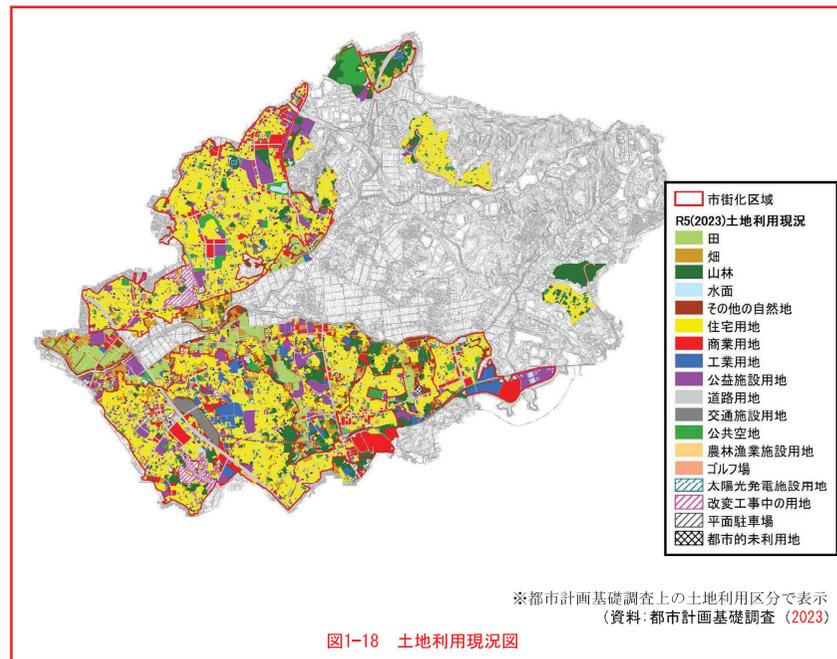


図1-18 土地利用現況図

※都市計画基礎調査上の土地利用区分で表示  
(資料:都市計画基礎調査(2023))

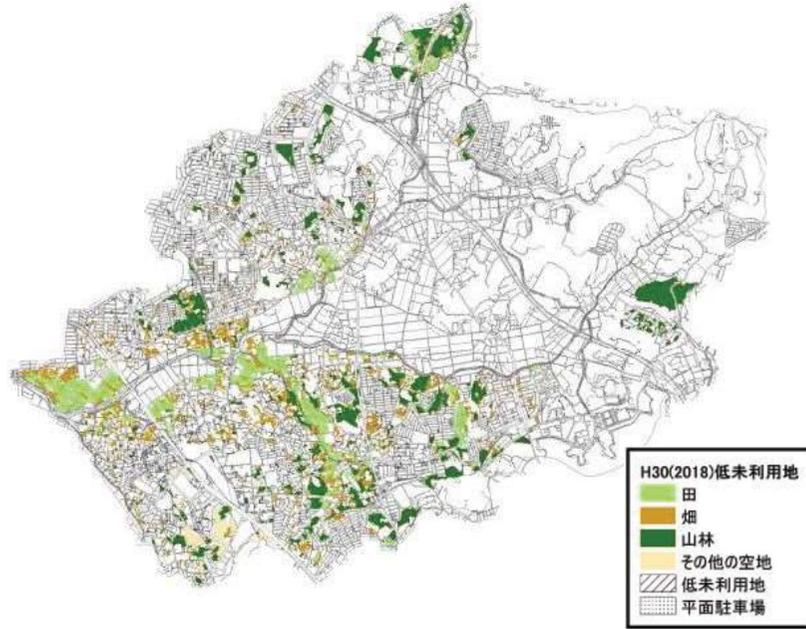


図1-19 都市的・未利用地の分布

(資料:都市計画基礎調査(2018))

- 0 計画の策定にあたって
- 1 現状特性の把握
- 2 課題の整理
- 3 理念と基本目標
- 4 将来都市構造
- 5 都市づくりの方針
- 6 地域別構想
- 7 計画の推進に向けて
- 8 参考資料

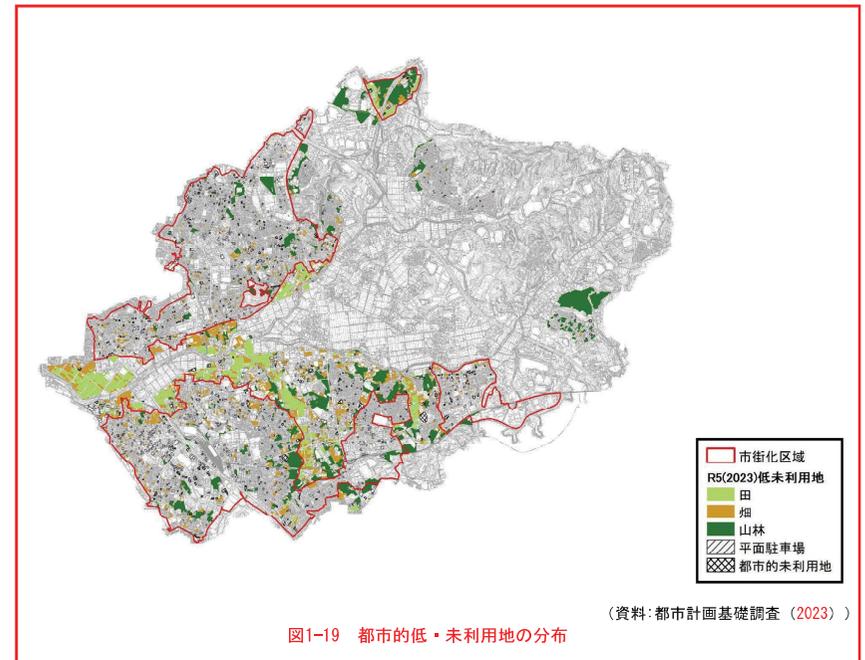


図1-19 都市的・未利用地の分布

(資料:都市計画基礎調査(2023))

- 0 計画の策定にあたって
- 1 現状特性の把握
- 2 課題の整理
- 3 理念と基本目標
- 4 将来都市構造
- 5 都市づくりの方針
- 6 地域別構想
- 7 計画の推進に向けて
- 8 参考資料

現行計画

③商業系用途地域(近隣商業地域)の土地利用特性

- 鉄道駅周辺を除く商業系用途地域については、80%以上が商業系土地利用に特化しています。
- 米野木駅周辺は住宅系土地利用の割合が90%以上であり、赤池駅周辺や日進駅周辺も住宅・商業が併存しており、商業系の土地利用の割合が低い状況にあります。

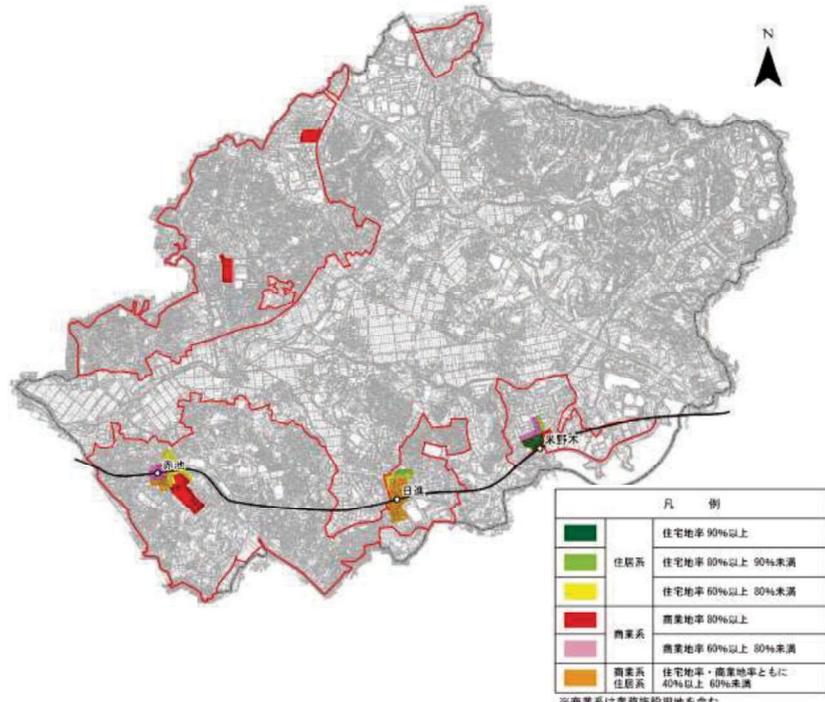


図1-20 近隣商業地域の土地利用構成

(資料:都市計画基礎調査(2018))

中間見直し案

③商業系用途地域(近隣商業地域)の土地利用特性

- 鉄道駅周辺を除く商業系用途地域については、80%以上が商業系土地利用に特化しています。
- 米野木駅周辺は住宅系土地利用の割合が90%以上であり、赤池駅周辺や日進駅周辺も住宅・商業が併存しており、商業系の土地利用の割合が低い状況にあります。

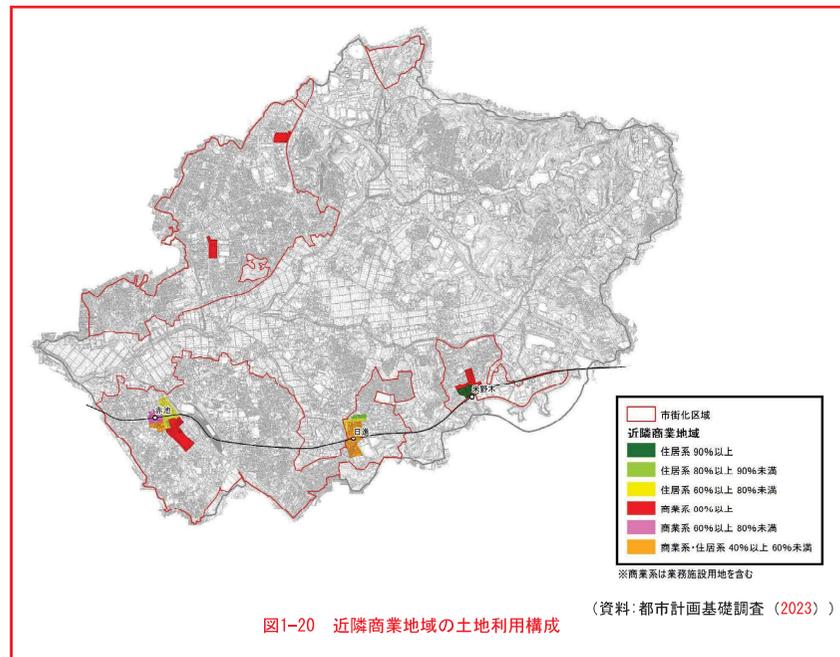


図1-20 近隣商業地域の土地利用構成

(資料:都市計画基礎調査(2023))

④工業系用途地域(準工業地域)の土地利用特性

- 準工業地域では、赤池駅東側の名鉄豊田線沿線では、工業系土地利用の割合が60%以上80%未満であり、住宅用途と混在している状況にあります。
- その他の地区も、用途が混在しています。

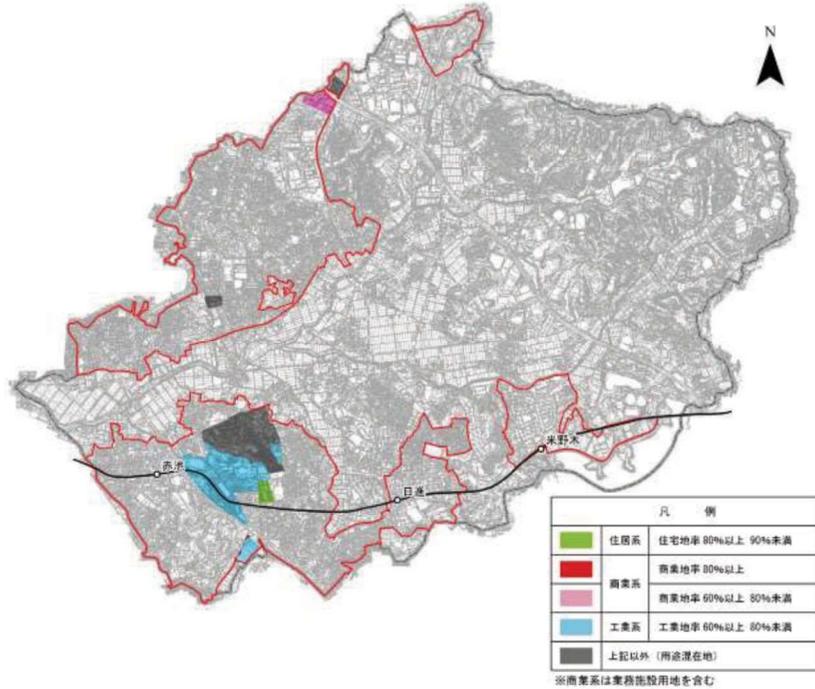


図 1-21 準工業地域の土地利用構成

(資料:都市計画基礎調査(2018))

④工業系用途地域(準工業地域)の土地利用特性

- 準工業地域では、**住居系土地利用・商業系土地利用・工業系土地利用**が混在している状況にあります。

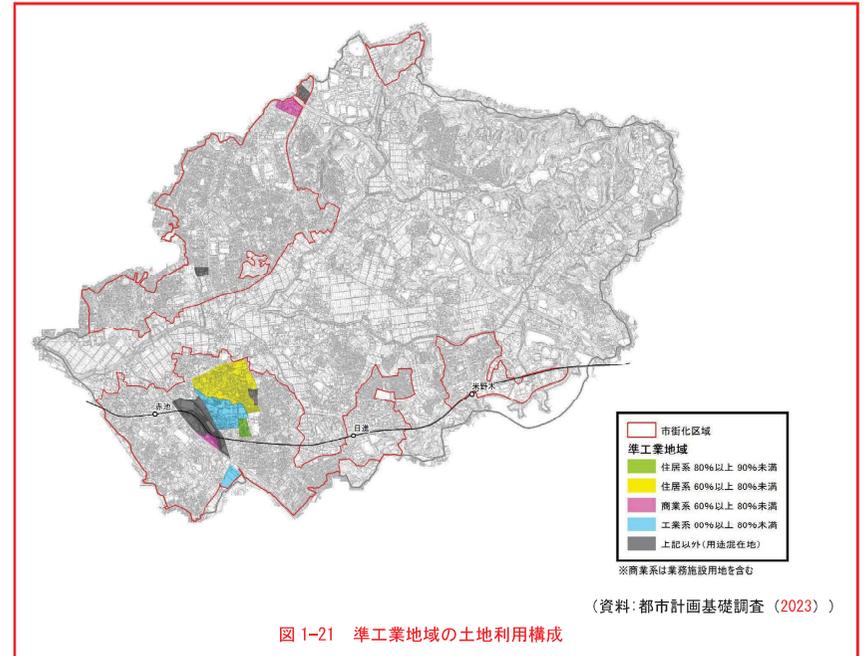


図 1-21 準工業地域の土地利用構成

(資料:都市計画基礎調査(2023))

(4) 都市機能

- 日常生活の利便や安心を支える都市機能（医療・福祉・子育て施設）は市街化区域内において概ね徒歩圏内に分布しています。
- 近年、赤池駅周辺において、新たに大型商業施設が立地しています。

①都市機能・生活機能の分類

- 医療施設は、歯科診療所が66施設で最も多く、次いで医科診療所が54施設となっています。
- 高齢者福祉施設は、訪問介護事業所が29施設、通所介護事業所が19施設となっています。
- 子育て支援施設は、保育園が15施設、幼稚園が4施設となっています。
- 商業施設は、大型スーパー（店舗面積が1,000㎡以上）が6件、スーパーが5件となっています。
- 学校施設は、小学校が9件と最も多く、次いで大学が5件となっています。

表1-3 各機能の分類

大分類	種類	施設数
医療施設	医科診療所	54
	歯科診療所	66
	病院	3
小計		123
高齢者福祉施設	訪問介護事業所	29
	訪問リハビリ事業所	3
	通所介護事業所	19
	通所リハビリ事業所	6
	短期入所生活介護事業所	4
	短期入所療養介護	4
	認知症高齢者グループホーム	5
	小規模多機能型居宅介護事業所	2
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	1
	認知症対応型通所介護事業所	2
	地域包括支援センター	3
	介護老人福祉施設	4
	介護老人保健施設	3
	有料老人ホーム	14
サービス付き高齢者向け住宅	2	
小計		101
子育て支援施設	民間放課後児童クラブ	20
	保育園	15
	公設放課後児童クラブ	9
	認可外保育施設	6
	福祉会館	6
	幼稚園	4
	子育て支援センター	3
	小規模保育事業所	7
認定こども園	4	
小計		74
商業施設	大型スーパー(店舗面積 1,000㎡以上)	6
	スーパー	5
小計		11
学校施設	小学校	9
	中学校	4
	高等学校	3
	大学	5
小計		22

(資料:市資料(2020年12月現在)、全国大型小売店総覧(2020))

(4) 都市機能

- 日常生活の利便や安心を支える都市機能（医療・福祉・子育て施設）の徒歩圏は、概ね市街化区域をカバーしています。
- 赤池駅周辺において、大型商業施設が立地しています。

①都市機能・生活機能の分類

- 医療施設は、医科診療所が70施設、歯科診療所が54施設となっています。
- 高齢者福祉施設は、訪問介護が19施設、居宅介護支援が17施設となっています。
- 子育て支援施設は、放課後児童クラブが33施設、認可公立保育所が10施設となっています。
- 商業施設は、大型スーパー（店舗面積が1,000㎡以上）が6件、スーパーが8件となっています。
- 学校施設は、小学校が9件と最も多く、次いで大学が5件となっています。

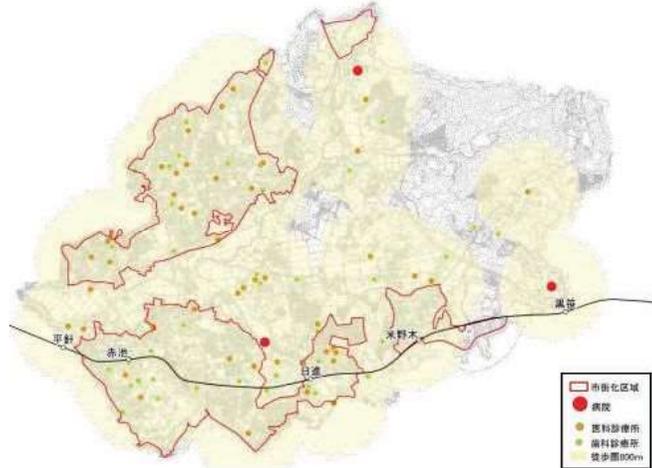
表1-3 各機能の分類

大分類	種類	施設数
医療施設	病院	4
	医科診療所	70
	歯科診療所	54
小計		128
高齢者福祉施設	居宅介護支援	17
	訪問介護(ホームヘルプ)	19
	訪問看護	12
	訪問リハビリ	3
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1
	通所介護(デイサービス)	11
	通所リハビリ	4
	地域密着型通所介護	8
	認知症対応型通所介護	2
	小規模多機能型居宅介護	2
	短期入所生活介護(ショートステイ)	4
	短期入所療養介護	3
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	3
	介護老人保健施設(老健)	3
特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム・軽費老人ホーム等)	5	
介護医療院	1	
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	5	
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	
小計		104
子育て支援施設	私立幼稚園	4
	認定こども園(幼保連携型)	3
	認定こども園(地方裁量型)	1
	認可私立保育所	5
	認可公立保育所	10
	認可外保育所	8
	放課後児童クラブ	33
	民間小規模保育事業所	9
	児童館	6
	その他	7
小計		86
商業施設	大型スーパー(店舗面積 1,000㎡以上)	6
	スーパー	8
小計		14
学校施設	小学校	9
	中学校	4
	高等学校	3
	大学	5
小計		21

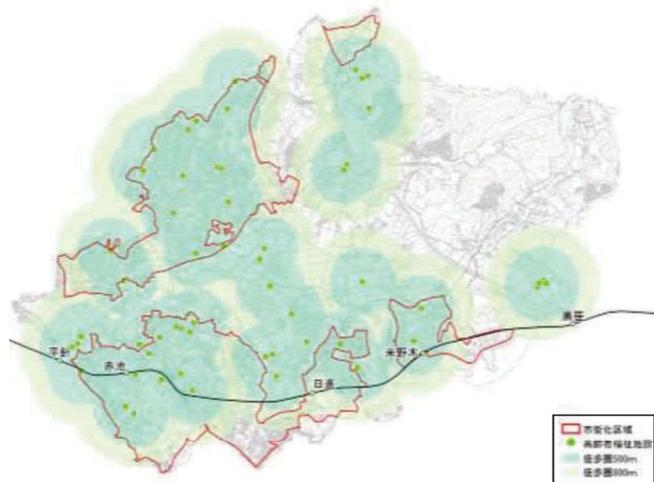
(資料:日進市オープンデータ、全国大型小売店総覧(2024)、iタウンページ、日本全国スーパーマーケット情報)

②都市機能の分布状況

- 医療施設は、市街化区域は概ね全域徒歩圏にあります。
- 高齢者福祉施設は、市街化区域に広く分布、一部地域を除いて概ね徒歩圏にあります。
- 子育て支援施設は、市街化区域に広く分布、一部地域を除いて概ね徒歩圏にあります。
- 商業施設は、市街化区域の一部で徒歩圏にない地域があります。また、近年赤池駅周辺において、新たに大型商業施設が立地しています。



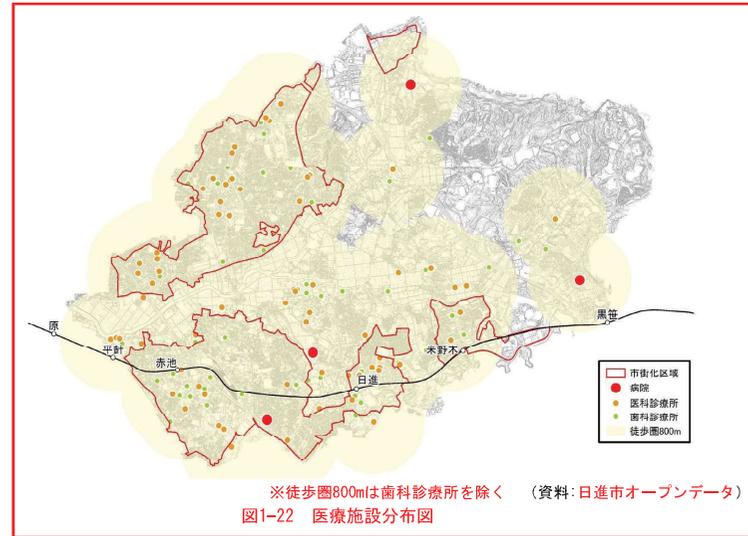
※医療診療所は整形外科や心療内科、耳鼻科等も含む (資料:日進市資料)  
 図1-22 医療施設分布図



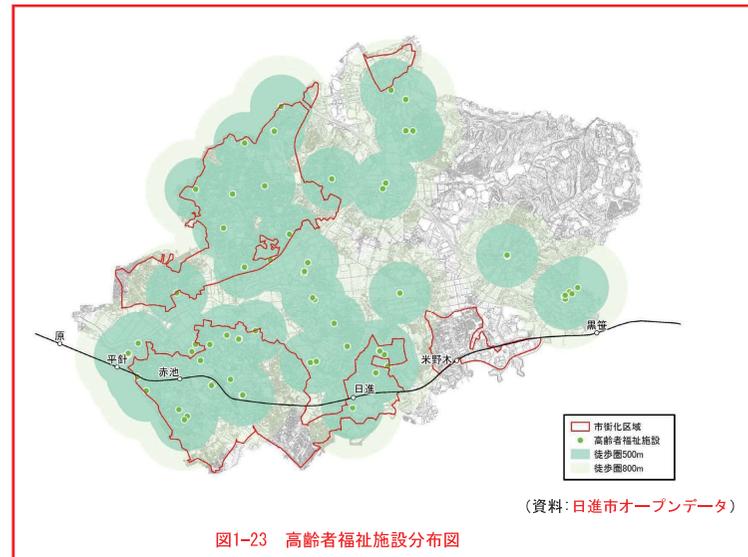
(資料:日進市資料)  
 図1-23 高齢者福祉施設分布図

②都市機能の分布状況

- 医療施設は、市街化区域は概ね全域徒歩圏にあります。
- 高齢者福祉施設は、市街化区域に広く分布、一部地域を除いて概ね徒歩圏にあります。
- 子育て支援施設は、市街化区域に広く分布、一部地域を除いて概ね徒歩圏にあります。
- 商業施設は、市街化区域の一部で徒歩圏にない地域があります。また、赤池駅周辺において、大型商業施設が立地しています。



※徒歩圏800mは歯科診療所を除く (資料:日進市オープンデータ)  
 図1-22 医療施設分布図



(資料:日進市オープンデータ)  
 図1-23 高齢者福祉施設分布図

0 計画の策定にあたって  
 1 現状特性の把握  
 2 都市づくり上の課題の整理  
 3 都市づくりの理念と基本目標  
 4 将来都市構造  
 5 都市づくりの方針  
 6 地域別構想  
 7 計画の推進に向けて  
 8 参考資料

0 計画の策定にあたって  
 1 現状特性の把握  
 2 都市づくり上の課題の整理  
 3 都市づくりの理念と基本目標  
 4 将来都市構造  
 5 都市づくりの方針  
 6 地域別構想  
 7 計画の推進に向けて  
 8 参考資料

### 現行計画

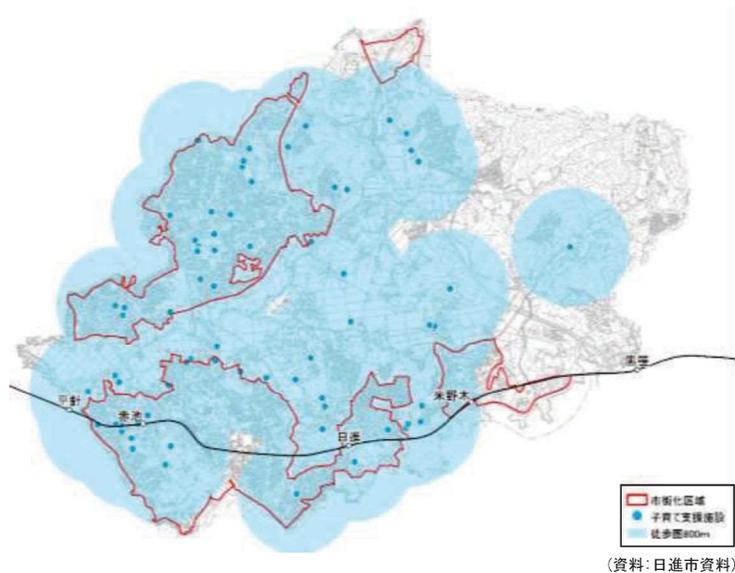


図1-24 子育て支援施設分布図

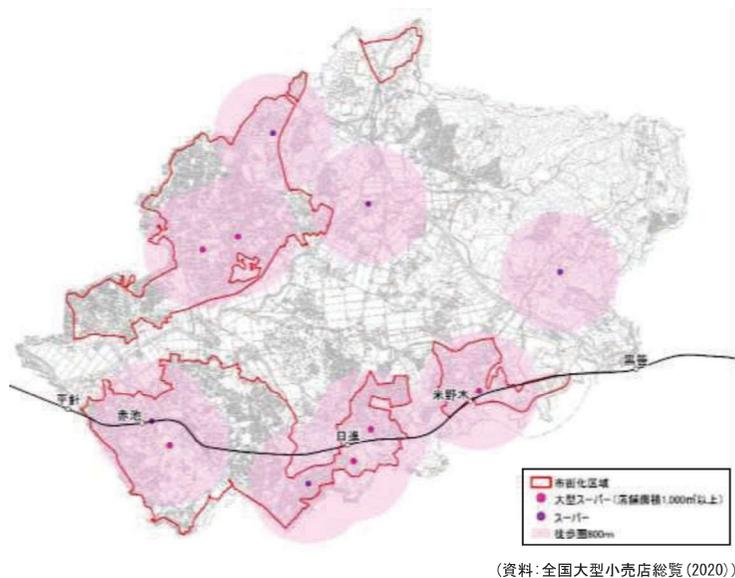


図1-25 商業施設分布図

### 中間見直し案

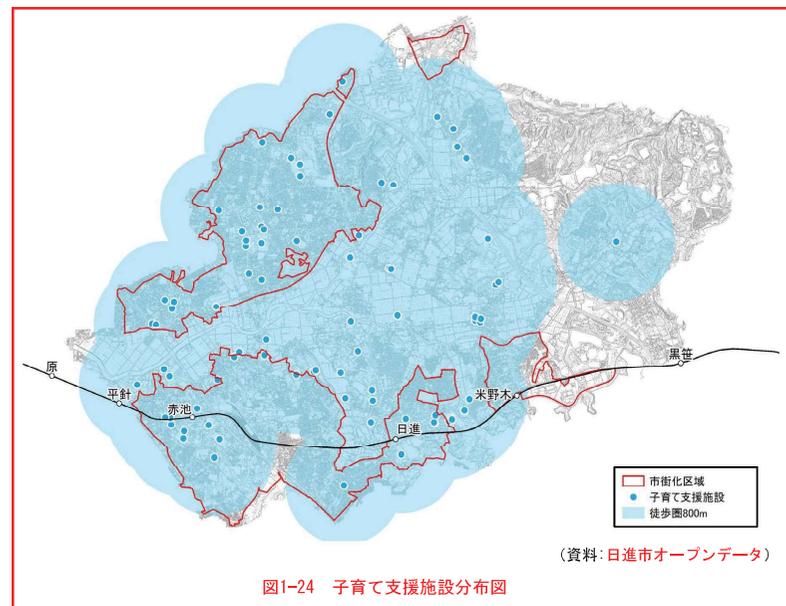


図1-24 子育て支援施設分布図

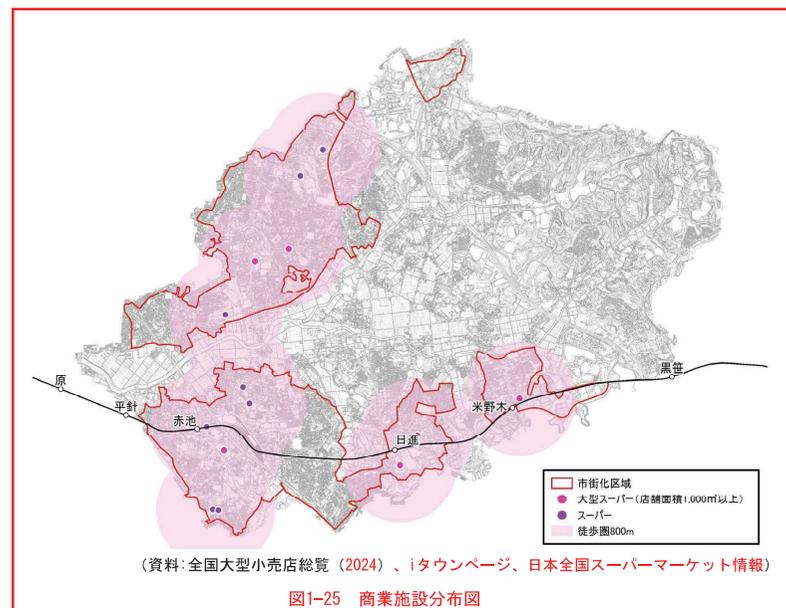
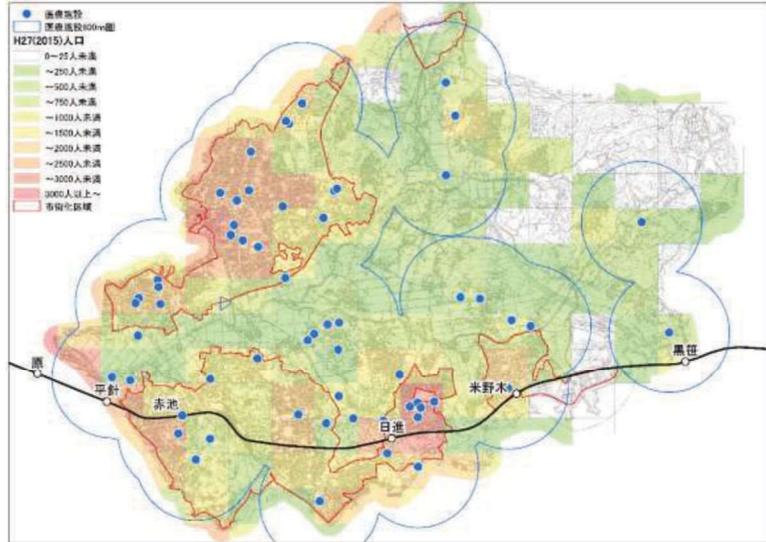


図1-25 商業施設分布図

③医療施設の徒歩圏人口カバー率

■ 本市の医療施設の徒歩圏人口カバー率は91.3%となっています。



(資料:市資料、国勢調査(2015))

図1-26 医療施設の人ロメッシュ分布図

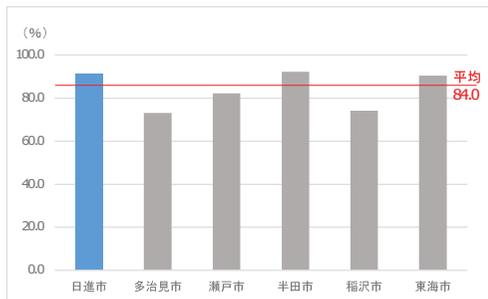


図1-27 医療施設の徒歩圏人口カバー率

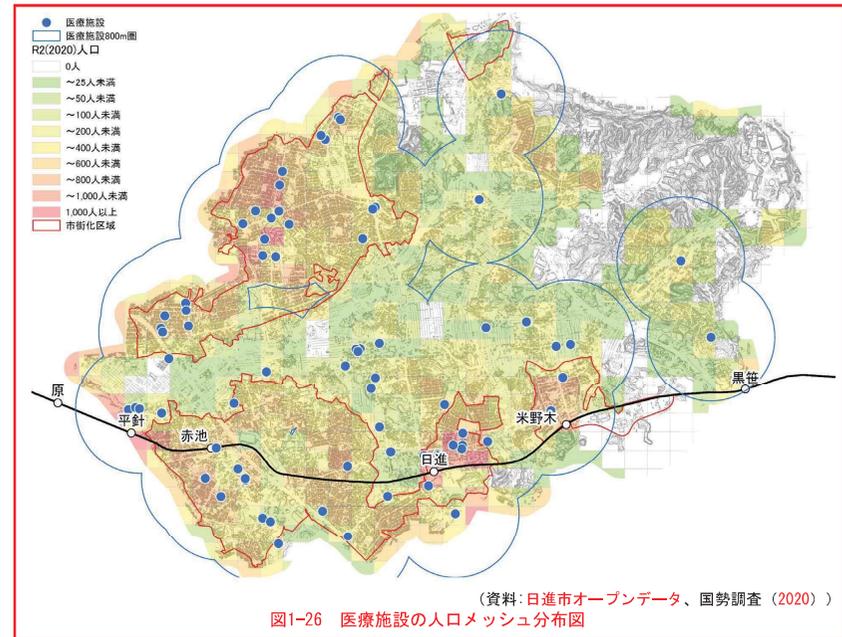
医療施設：  
病院(病床数20床以上)及び  
診療所

※徒歩圏人口カバー率とは、市全体人口に対する、徒歩圏域内の人口が占める割合

※徒歩圏域は、施設から半径800m  
※左図1-27は、比較的人口規模の近い人口10万人～14万人程度の都市を比較対象としている

③医療施設の徒歩圏人口カバー率

■ 本市の医療施設の徒歩圏人口カバー率は94.4%となっています。



(資料:日進市オープンデータ、国勢調査(2020))

図1-26 医療施設の人ロメッシュ分布図

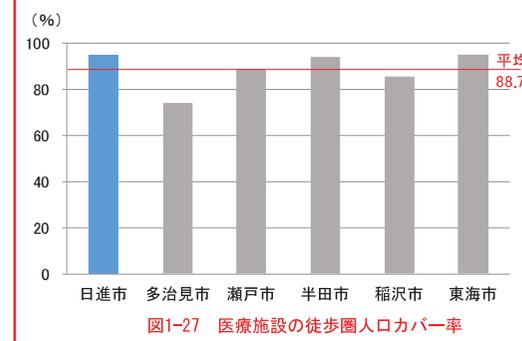


図1-27 医療施設の徒歩圏人口カバー率

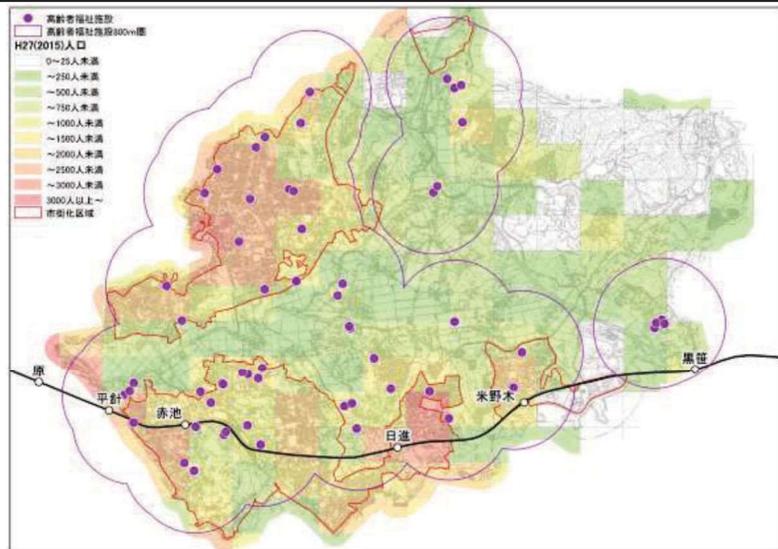
医療施設：  
病院(病床数20床以上)及び  
診療所

※徒歩圏人口カバー率とは、市全体人口に対する、徒歩圏域内の人口が占める割合

※徒歩圏域は、施設から半径800m  
※左図1-27は、比較的人口規模の近い人口10万人～14万人程度の都市を比較対象としている

④高齢者福祉施設の徒歩人口カバー率

■ 本市の高齢者福祉施設の徒歩圏人口カバー率は85.8%となっています。



(資料:市資料、国勢調査(2015))

図1-28 高齢者福祉施設の人ロメッシュ分布図

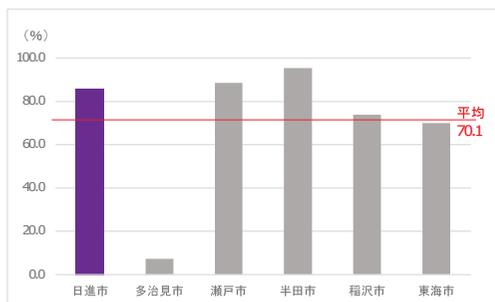


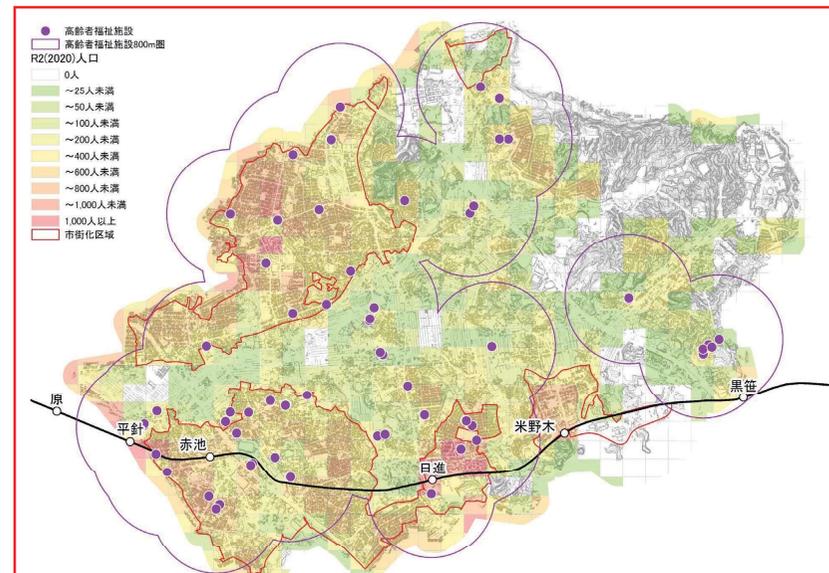
図1-29 高齢者福祉施設の徒歩圏人口カバー率

高齢者福祉施設：  
介護事業所、リハビリ事業所、  
地域包括支援センター等

※徒歩圏人口カバー率とは、市全体人口に対する、徒歩圏内の人口が占める割合  
※徒歩圏域は、施設から半径800m  
※左図1-29は、比較的人口規模の近い人口10万人～14万人程度の都市を比較対象としている

④高齢者福祉施設の徒歩圏人口カバー率

■ 本市の高齢者福祉施設の徒歩圏人口カバー率は88.9%となっています。



(資料:日進市オープンデータ、国勢調査(2020))

図1-28 高齢者福祉施設の人ロメッシュ分布図

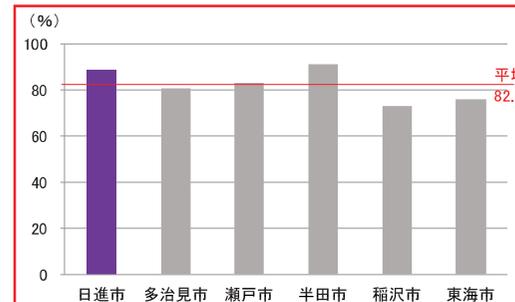


図1-29 高齢者福祉施設の徒歩圏人口カバー率

高齢者福祉施設：  
介護事業所、リハビリ事業所、  
地域包括支援センター等

※徒歩圏人口カバー率とは、市全体人口に対する、徒歩圏内の人口が占める割合  
※徒歩圏域は、施設から半径800m  
※左図1-29は、比較的人口規模の近い人口10万人～14万人程度の都市を比較対象としている